

# ケアマネジメント基礎コースガイドンス

## 【研修の概要】

令和6年6月20日～6月21日

長野県 上小圏域基幹相談支援センター  
所長 橋詰 正



## ケアマネジメント基礎コースの目的

1. 初任者研修は、ケアマネジメントを学ぶ入口であることから、相談支援従事者初任者研修の構造と各科目の獲得目標と内容を理解して頂くことが研修企画の基礎となる。(ケアマネジメントプロセスの理解)
2. 現任研修は、地域を基盤としたソーシャルワーク実践が行える技術に身に着け、①個別支援ではストレングスに着目した意思決定支援を通して自己肯定感を高めエンパワメントさせていく過程、②インフォーマルサービスを含めた多職種連携をチームアプローチを通じ実践する技術・能力の獲得、③コミュニティワークの理論と方法を理解した実践、④相談支援実践へのスーパービジョンを取り入れていく構造である。
3. 主任研修は、相談支援の実践者を実地教育により人材育成を展開し、地域においてOJT体制を構築しながら、主任自らが地域作りの実践を展開するための構造を理解する。**※地域作りは、現任者の実践から始まっている。**
4. 初任者・現任・主任研修の構造・目的・受講者に伝える内容を基礎として、研修を組み立てるため、本研修を通じて各都道府県研修の振り返りの自己点検の機会として頂く。
5. 本研修をきっかけに、今後の研修の在り方の再検討の機会と同時に、法定研修をきっかけとした市町村単位で人材育成をするOJT体制の実践を障害福祉計画として本格化して頂く。

# 法定研修を企画運営する体制の構築 (企画運営する際のポイント)

令和2年度相談  
支援指導者養成  
研修資料(令和3  
年度配信講義資  
料)

## 【企画立案】

- ① 毎年度毎に、検討メンバー全員が人材育成の全体像(人材育成ビジョン)とカリキュラム・ガイドライン・教材を理解し基盤を作る  
(ポイントとなる点を確認を遠隔地とのオンライン活用なども工夫する)
- ② 各科目間の連動を意識し、研修としての一貫性を担保する。

**注:担当者が講師を割り振る発想による企画は避ける。⇒分担があっても相互共有が重要**

(全体の構成を共有し、誰がどの部分を担当するかを検討する。)

- ③ 研修規模を大きくしすぎない。

(サービス管理責任者等研修と別の開催も視野に入れる。)

注:演習は1グループ6名の1会場最大10グループ以下の小ユニット化

(1名統括の配置)・OJTを意識し演習は活動エリアに近い会場

- ④ 講師間での認識や指導の内容に齟齬が出ないようにツールを活用ガイドラインに忠実  
い可視化した留意ポイント(進行表)を作成
- ⑤ 初めて講師をつとめる人に対するインストラクション  
(事前に試行する場・サポート役の演習講師)⇒**講師と実地教育指導者の人材育成**

3

# 法定研修を企画運営する体制の構築 (企画運営する際のポイント)

令和2年度相談  
支援指導者養成  
研修資料(令和3  
年度配信講義資  
料)

## 【企画立案】

- ⑥ **地域での実践を意識した演習方法**(市町村等で独自の様式を用いている場合は、地域でフォローアップ研修の開催)  
スーパービジョン等の方法を都道府県単位で協議  
(都道府県を単位として共通の方法を検討し、OJTと研修両方で活用)
- ⑦ **市町村や基幹相談支援センター等に内容や意図を周知**  
(課題実習の受け入れ依頼にとどまらず、人材育成の意義や地域でのOJTとの連動などの必要性を含め周知する協議の場を設け、人材育成の検討の  
場に市町村職員の参加を求めるなどの工夫をする。)

- ⑧ 次年度に向けた振り返り

4

# 令和6年度 ケアマネジメント基礎コース

## 研修構造とスケジュール

5

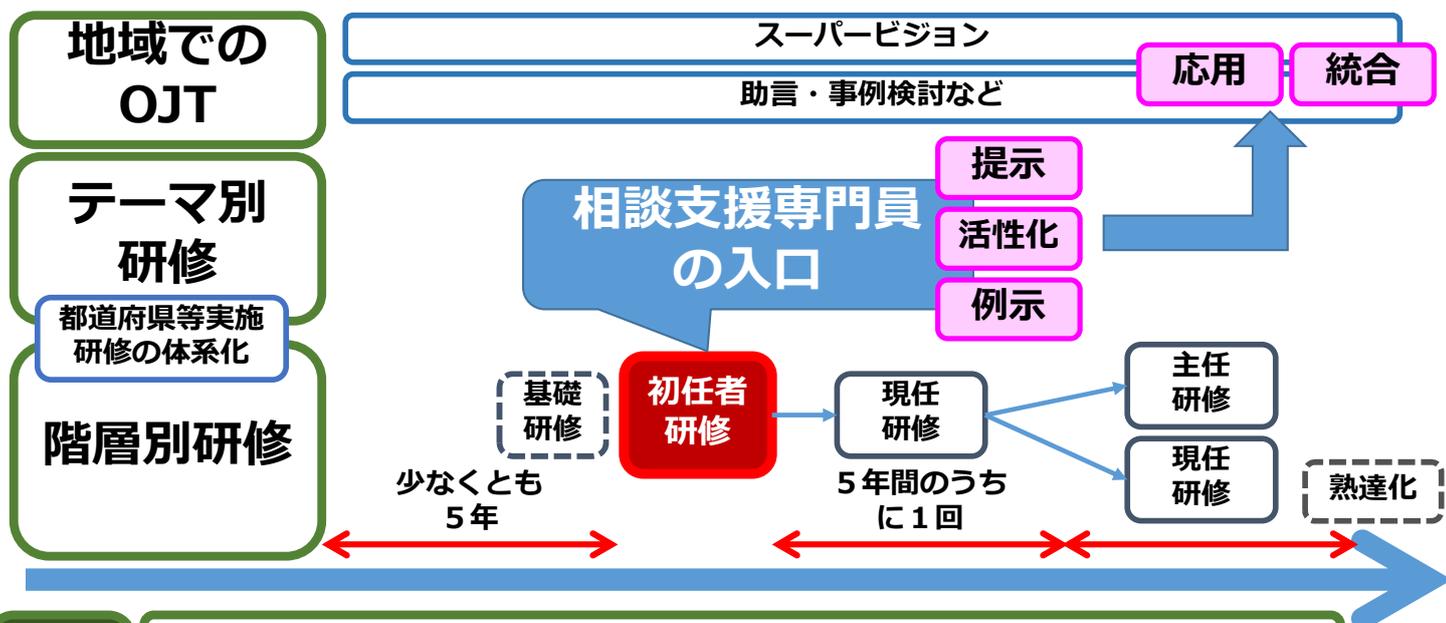
### ケアマネジメント基礎コース・カリキュラム

研修日	時間	講師・内容
6月20日	8:50~9:00	ガイダンス (研修全体)
		休憩
	9:00~9:10	コースガイダンス【2日間のスケジュールと初任者・現任研修の構造】 長野県上小園域基幹相談支援センター 所長・主任相談支援専門員 橋詰 正 氏
	9:10~10:00	PG2講義 多職種協働・チーム支援とアセスメントについて 大正大学 名誉教授 近藤 直司 氏
	10:00~10:10	休憩
	10:10~	講義 アセスメントとケースレポート ケアマネジメントの展開 大正大学 名誉教授 近藤直司 氏 【講義・演習】ケアマネジメントにおけるアセスメントとその教育方法 ・基本相談(特にアセスメント)について方法の体験的理解を図る。 演習 ケースレポート (インテーク・アセスメント)
	~12:10	
	12:10~13:10	
	13:10~	演習 アセスメント (アセスメント~プランニング) 【講義・演習】ケアマネジメントにおけるアセスメントとその教育方法 ・基本相談(特にアセスメント)について方法の体験的理解を図る。 ・アセスメントから、プランニング
	~16:00	
	16:00~	まとめ (本日の講義・講評)
	~16:05	大正大学 名誉教授 近藤直司 氏
	16:05~	講義 【初任者研修のニーズ整理票導入について】
	~16:10	長野県上小園域基幹相談支援センター 所長 橋詰 正 氏
	16:10~	講義【相談支援の基本的スキル獲得に向けた教育方法】
	~16:30	名古屋市総合リハビリテーション事業団 総合相談部長 なごや高次脳機能障害支援センター 参事 小島 一郎 氏
	16:30~	グループワーク【相談支援の基本的スキル獲得に向けた教育方法】
	~17:10	社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会鶴ヶ島市生活サポートセンター 主任相談支援専門員 岡村 英佑 氏
	17:10~	2日目のまとめ (研修全体の振り返り)
	~17:20	社会福祉法人有誠福祉会 名西郡障がい者基幹相談支援センター 管理者 川島成太 氏
17:20~17:30	全体のまとめ	

6月21日	8:50~	PGA-1 ガイダンス (研修全体)
	~9:00	厚生労働省 相談支援専門員
	9:00	講義【法定研修の流れと現任者に求めるスキル】
	~9:20	社会福祉法人唐池学園貴志園 園長 富岡 貴生 氏
	9:20~9:50	講義【個別支援における意思決定支援の教育方法1】現任演習編 長野県上小園域基幹相談支援センター 所長 橋詰 正 氏
	9:50~10:05	休憩
	10:05~	演習 ロールプレイ【個別支援における意思決定支援の教育方法1】現任演習編 ~10:45 モデル事例による意思決定支援のグループワーク (GSV)
	10:45~11:55	演習 振り返り
	10:55	演習現任研修の意思決定支援の演習企画・運営について 一般社団法人福井県相談支援専門員協会 ~11:40 副代表 平吹 威一郎 氏
	10:40~	3日目のまとめ ~11:50 社会福祉法人水交会 大仙市基幹相談支援センター かのん 室長/主任相談支援専門員 安藤拓哉 氏 社会福祉法人 光と風 相談支援事業所 光と風 大西未佳 氏
	11:50~	3日間のケアマネジメント基礎コースのまとめ ~12:00 社会福祉法人唐池学園貴志園 園長 富岡 貴生 氏
		昼休憩
		午後のプログラムへ
	15:50~16:00	閉 講

**1日目 (6月19日)**  
**全体講義**  
**2日目 (6月20日)**  
**アセスメント・ケースレビュー**  
**基本的スキルと現任者実践**  
**3日目 (6月21日)**  
**個別支援における意思決定支援**

# 継続的な学びの中での初任者研修とその獲得目標



## 獲得目標

- ① 地域を基盤としたソーシャルワークとしての障害者相談支援の価値と知識を理解する。
- ② 基本相談支援の理論と実際を理解し、障害者ケアマネジメントのスキルを獲得する。
- ③ 計画相談支援の実施に関する実務を理解し、一連の業務ができる。
- ④ 地域づくりとその核となる（自立支援）協議会の役割と機能を理解する。

平成30年度 障害者総合福祉推進事業におけるモデル研修での研修ガイダンス資料例（一部改変）

7

## 参考

### 初任者研修の位置づけ

初任者研修は、障害者相談支援の入口であると位置づけられ、この観点から獲得目標を設定しました。

しかし、初任者研修のみで地域を基盤としたソーシャルワークとしての障害者相談支援に関する価値・倫理、知識、スキルを包括的に習得することは不可能です。

そのため、社会福祉士や精神保健福祉士養成課程等によるソーシャルワークに関する基礎教育を受けていない受講生については特に、初任者研修受講と前後にソーシャルワークに関する基礎的研修を受講する等の学びのナビゲーションも必要であると考えられます。

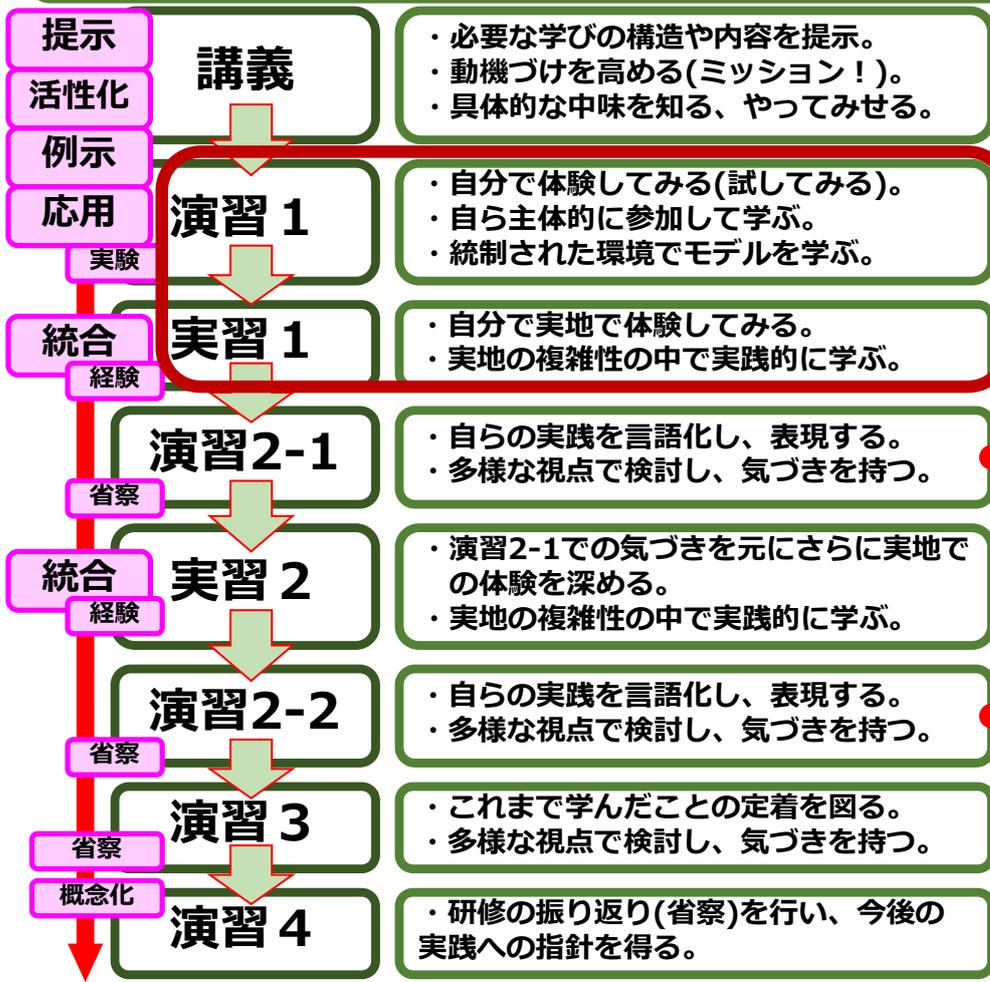
それを基礎研修として示しています。

- ① 相談面接技術
- ② 相談面接技術と連動するインテーク・アセスメントの基礎
- ③ 価値・倫理の基礎的内容など
- ④ 法制度についての理解も、何らかの形で基礎的な学習を別途行う必要です。
- ⑤ 初任者研修修了後も、OJTによる学びの定着や、自己研鑽等（現任研修以外に必要！）

平成30年度 障害者総合福祉推進事業におけるモデル研修での研修ガイダンス資料例（一部改変）

8

# 初任者研修の構造



・抽象から具体へ  
・理論から実践へ  
・単純から複雑へ

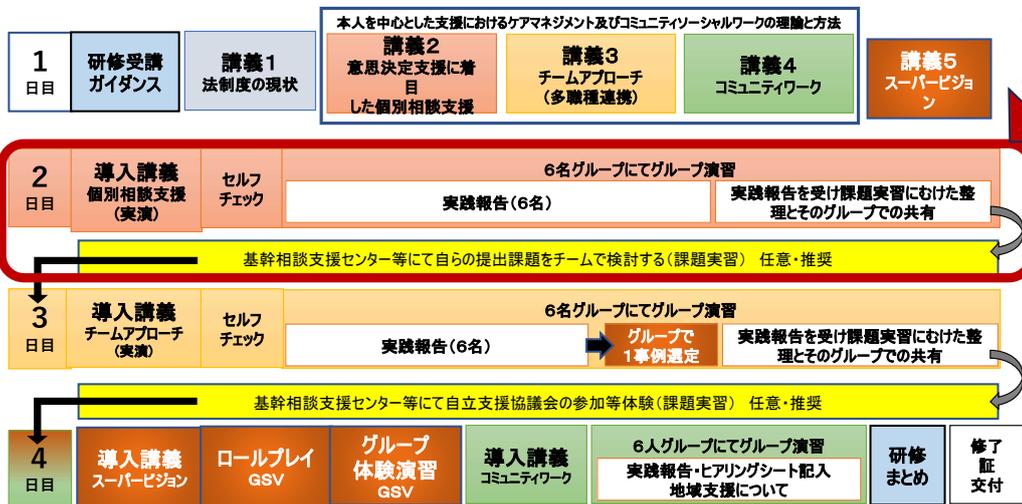
6月20日  
演習

現場に戻ってからも続けてほしい、スーパービジョンやケースレビューの体験を通して学ぶ。

平成30年度  
障害者総合福祉推進事業における  
モデル研修での研修ガイドダンス資料例  
(一部改変)

# 相談支援従事者現任研修カリキュラム構造

- 【獲得目標】 ※初任者研修で扱った価値・知識・技術
- ① 相談支援の基本を理解し、それを基盤とした実践を行うことができる。
  - ② チームアプローチ(多職種連携)の理論と方法を理解し、実践することができる。
  - ③ コミュニティワーク(地域とのつながりやインフォーマルの活用等)の理論と方法を理解し、実践することができる。
  - ④ スーパービジョンの理論と方法を理解するとともに、継続的に研鑽を継続した実践をすることができる。



6月21日  
午前演習

【意思決定(支援)を通して生きがいや自己肯定感を高める支援(ストレンガス)、相談支援の技術と能力の獲得】  
※初任者研修の再確認

【チームアプローチ(多職種連携)を実践するための技術と能力の獲得】  
※初任者研修からのスキルアップ

【地域に即した相談支援の実践力の獲得】

# 第7期障害福祉計画の推進も見越したOJT体制との連動

(2) 協議会における個別事例の検討を通じた地域のサービス基盤の開発・改善

項目	R6年度	R7年度	R8年度
相談事業所の参画による事例検討実施数	回	回	回
参加事業者数・機関数	団体	団体	団体
協議会の専門部会の設置数	部会	部会	部会
協議会の専門部会の実施回数	回	回	回

## 6. 相談支援体制の充実・強化等

(別表九) 相談支援体制の充実・強化のための取組

○本項目の取組単位について教えてください。(市町村単位又は圏域・地域単位)	
※圏域・地域単位で取り組む場合、圏域・地域名を記載してください	圏域・地域

(1) 基幹相談支援センターによる地域の相談支援体制の強化

項目	R6年度	R7年度	R8年度
基幹相談支援センターの設置の有無			
地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導・助言件数	件	件	件
地域の相談支援事業者の人材育成の支援件数	件	件	件
地域の相談機関との連携強化の取組の実施回数	回	回	回
個別事例の支援内容の検証回数	回	回	回
主任相談支援専門員の配置人数	人	人	人

## ケアマネジメント基礎コース・カリキュラム

研修日	時間	講師・内容
6月20日	8:50-9:00	ガイダンス (研修全体)
	9:00-9:10	研修
	9:10-9:15	コースガイダンス (目的・スケジュールと研修・担任講師の構成)
	9:15-9:30	長野県上小国福祉相談支援センター 所長 藤原 正 氏
	9:30-9:50	PG2研修 多職種協働・チーム実践とアセスメントについて
	9:50-10:05	水戸大学 名誉教授 近藤 昌博 氏
	10:10-10:15	休憩
	10:15-10:45	講義 アセスメントとケースレポート ケアマネジメントの展開
	10:45-11:00	水戸大学 名誉教授 近藤 昌博 氏
	11:00-12:10	【講義・演習】ケアマネジメントにおけるアセスメントとその教育方法 ・基本事項(特にアセスメント)について方法の体験的理解を図る。 演習 ケースレポート(インテーク・アセスメント)
	12:10-12:15	休憩
	12:15-12:30	講義 アセスメント(アセスメント・プランニング)
	12:30-13:00	【講義・演習】ケアマネジメントにおけるアセスメントとその教育方法 ・基本事項(特にアセスメント)について方法の体験的理解を図る。 ・アセスメントから、プランニング
	13:00-13:15	まとめ (本日の講義・演習)
13:15-13:30	～16:00	～16:00
16:00-16:15	まとめ (本日の講義・演習)	
16:15-16:30	～16:30	～16:30
16:30-16:45	～16:45	～16:45
16:45-17:00	～17:00	～17:00
17:00-17:15	～17:15	～17:15
17:15-17:30	～17:30	～17:30
17:30-17:45	～17:45	～17:45
17:45-18:00	～18:00	～18:00
18:00-18:15	～18:15	～18:15
18:15-18:30	～18:30	～18:30
18:30-18:45	～18:45	～18:45
18:45-19:00	～19:00	～19:00
19:00-19:15	～19:15	～19:15
19:15-19:30	～19:30	～19:30
19:30-19:45	～19:45	～19:45
19:45-20:00	～20:00	～20:00
20:00-20:15	～20:15	～20:15
20:15-20:30	～20:30	～20:30
20:30-20:45	～20:45	～20:45
20:45-21:00	～21:00	～21:00
21:00-21:15	～21:15	～21:15
21:15-21:30	～21:30	～21:30
21:30-21:45	～21:45	～21:45
21:45-22:00	～22:00	～22:00
22:00-22:15	～22:15	～22:15
22:15-22:30	～22:30	～22:30
22:30-22:45	～22:45	～22:45
22:45-23:00	～23:00	～23:00
23:00-23:15	～23:15	～23:15
23:15-23:30	～23:30	～23:30
23:30-23:45	～23:45	～23:45
23:45-24:00	～24:00	～24:00
24:00-24:15	～24:15	～24:15
24:15-24:30	～24:30	～24:30
24:30-24:45	～24:45	～24:45
24:45-25:00	～25:00	～25:00
25:00-25:15	～25:15	～25:15
25:15-25:30	～25:30	～25:30
25:30-25:45	～25:45	～25:45
25:45-26:00	～26:00	～26:00
26:00-26:15	～26:15	～26:15
26:15-26:30	～26:30	～26:30
26:30-26:45	～26:45	～26:45
26:45-27:00	～27:00	～27:00
27:00-27:15	～27:15	～27:15
27:15-27:30	～27:30	～27:30
27:30-27:45	～27:45	～27:45
27:45-28:00	～28:00	～28:00
28:00-28:15	～28:15	～28:15
28:15-28:30	～28:30	～28:30
28:30-28:45	～28:45	～28:45
28:45-29:00	～29:00	～29:00
29:00-29:15	～29:15	～29:15
29:15-29:30	～29:30	～29:30
29:30-29:45	～29:45	～29:45
29:45-30:00	～30:00	～30:00
30:00-30:15	～30:15	～30:15
30:15-30:30	～30:30	～30:30
30:30-30:45	～30:45	～30:45
30:45-31:00	～31:00	～31:00
31:00-31:15	～31:15	～31:15
31:15-31:30	～31:30	～31:30
31:30-31:45	～31:45	～31:45
31:45-32:00	～32:00	～32:00
32:00-32:15	～32:15	～32:15
32:15-32:30	～32:30	～32:30
32:30-32:45	～32:45	～32:45
32:45-33:00	～33:00	～33:00
33:00-33:15	～33:15	～33:15
33:15-33:30	～33:30	～33:30
33:30-33:45	～33:45	～33:45
33:45-34:00	～34:00	～34:00
34:00-34:15	～34:15	～34:15
34:15-34:30	～34:30	～34:30
34:30-34:45	～34:45	～34:45
34:45-35:00	～35:00	～35:00
35:00-35:15	～35:15	～35:15
35:15-35:30	～35:30	～35:30
35:30-35:45	～35:45	～35:45
35:45-36:00	～36:00	～36:00
36:00-36:15	～36:15	～36:15
36:15-36:30	～36:30	～36:30
36:30-36:45	～36:45	～36:45
36:45-37:00	～37:00	～37:00
37:00-37:15	～37:15	～37:15
37:15-37:30	～37:30	～37:30
37:30-37:45	～37:45	～37:45
37:45-38:00	～38:00	～38:00
38:00-38:15	～38:15	～38:15
38:15-38:30	～38:30	～38:30
38:30-38:45	～38:45	～38:45
38:45-39:00	～39:00	～39:00
39:00-39:15	～39:15	～39:15
39:15-39:30	～39:30	～39:30
39:30-39:45	～39:45	～39:45
39:45-40:00	～40:00	～40:00
40:00-40:15	～40:15	～40:15
40:15-40:30	～40:30	～40:30
40:30-40:45	～40:45	～40:45
40:45-41:00	～41:00	～41:00
41:00-41:15	～41:15	～41:15
41:15-41:30	～41:30	～41:30
41:30-41:45	～41:45	～41:45
41:45-42:00	～42:00	～42:00
42:00-42:15	～42:15	～42:15
42:15-42:30	～42:30	～42:30
42:30-42:45	～42:45	～42:45
42:45-43:00	～43:00	～43:00
43:00-43:15	～43:15	～43:15
43:15-43:30	～43:30	～43:30
43:30-43:45	～43:45	～43:45
43:45-44:00	～44:00	～44:00
44:00-44:15	～44:15	～44:15
44:15-44:30	～44:30	～44:30
44:30-44:45	～44:45	～44:45
44:45-45:00	～45:00	～45:00
45:00-45:15	～45:15	～45:15
45:15-45:30	～45:30	～45:30
45:30-45:45	～45:45	～45:45
45:45-46:00	～46:00	～46:00
46:00-46:15	～46:15	～46:15
46:15-46:30	～46:30	～46:30
46:30-46:45	～46:45	～46:45
46:45-47:00	～47:00	～47:00
47:00-47:15	～47:15	～47:15
47:15-47:30	～47:30	～47:30
47:30-47:45	～47:45	～47:45
47:45-48:00	～48:00	～48:00
48:00-48:15	～48:15	～48:15
48:15-48:30	～48:30	～48:30
48:30-48:45	～48:45	～48:45
48:45-49:00	～49:00	～49:00
49:00-49:15	～49:15	～49:15
49:15-49:30	～49:30	～49:30
49:30-49:45	～49:45	～49:45
49:45-50:00	～50:00	～50:00
50:00-50:15	～50:15	～50:15
50:15-50:30	～50:30	～50:30
50:30-50:45	～50:45	～50:45
50:45-51:00	～51:00	～51:00
51:00-51:15	～51:15	～51:15
51:15-51:30	～51:30	～51:30
51:30-51:45	～51:45	～51:45
51:45-52:00	～52:00	～52:00
52:00-52:15	～52:15	～52:15
52:15-52:30	～52:30	～52:30
52:30-52:45	～52:45	～52:45
52:45-53:00	～53:00	～53:00
53:00-53:15	～53:15	～53:15
53:15-53:30	～53:30	～53:30
53:30-53:45	～53:45	～53:45
53:45-54:00	～54:00	～54:00
54:00-54:15	～54:15	～54:15
54:15-54:30	～54:30	～54:30
54:30-54:45	～54:45	～54:45
54:45-55:00	～55:00	～55:00
55:00-55:15	～55:15	～55:15
55:15-55:30	～55:30	～55:30
55:30-55:45	～55:45	～55:45
55:45-56:00	～56:00	～56:00
56:00-56:15	～56:15	～56:15
56:15-56:30	～56:30	～56:30
56:30-56:45	～56:45	～56:45
56:45-57:00	～57:00	～57:00
57:00-57:15	～57:15	～57:15
57:15-57:30	～57:30	～57:30
57:30-57:45	～57:45	～57:45
57:45-58:00	～58:00	～58:00
58:00-58:15	～58:15	～58:15
58:15-58:30	～58:30	～58:30
58:30-58:45	～58:45	～58:45
58:45-59:00	～59:00	～59:00
59:00-59:15	～59:15	～59:15
59:15-59:30	～59:30	～59:30
59:30-59:45	～59:45	～59:45
59:45-60:00	～60:00	～60:00
60:00-60:15	～60:15	～60:15
60:15-60:30	～60:30	～60:30
60:30-60:45	～60:45	～60:45
60:45-61:00	～61:00	～61:00
61:00-61:15	～61:15	～61:15
61:15-61:30	～61:30	～61:30
61:30-61:45	～61:45	～61:45
61:45-62:00	～62:00	～62:00
62:00-62:15	～62:15	～62:15
62:15-62:30	～62:30	～62:30
62:30-62:45	～62:45	～62:45
62:45-63:00	～63:00	～63:00
63:00-63:15	～63:15	～63:15
63:15-63:30	～63:30	～63:30
63:30-63:45	～63:45	～63:45
63:45-64:00	～64:00	～64:00
64:00-64:15	～64:15	～64:15
64:15-64:30	～64:30	～64:30
64:30-64:45	～64:45	～64:45
64:45-65:00	～65:00	～65:00
65:00-65:15	～65:15	～65:15
65:15-65:30	～65:30	～65:30
65:30-65:45	～65:45	～65:45
65:45-66:00	～66:00	～66:00
66:00-66:15	～66:15	～66:15
66:15-66:30	～66:30	～66:30
66:30-66:45	～66:45	～66:45
66:45-67:00	～67:00	～67:00
67:00-67:15	～67:15	～67:15
67:15-67:30	～67:30	～67:30
67:30-67:45	～67:45	～67:45
67:45-68:00	～68:00	～68:00
68:00-68:15	～68:15	～68:15
68:15-68:30	～68:30	～68:30
68:30-68:45	～68:45	～68:45
68:45-69:00	～69:00	～69:00
69:00-69:15	～69:15	～69:15
69:15-69:30	～69:30	～69:30
69:30-69:45	～69:45	～69:45
69:45-70:00	～70:00	～70:00
70:00-70:15	～70:15	～70:15
70:15-70:30	～70:30	～70:30
70:30-70:45	～70:45	～70:45

## ケアマネジメント基礎コースのまとめ

3日間の、カリキュラムを通じ、都道府県研修の振り返りと今後に向けた取り組みへの課題整理をし、コース毎の研修終了後、都道府県4コースに分かれて受講された皆さんと、質の高い研修に向け意見集約を図り、初任者・現任・主任研修企画全体の流れと、一歩進んだ体制での構造化した研修に向けて本年度研修の実践を行って頂きたい。

## 本研修科目の告示(抜粋)

## 【科目】

受付及び初期相談並びに契約アセスメント(事前評価)及びニーズ把握

## 【獲得目標】

基本相談支援の実際について修得する。

受付及び初期相談(インテーク)、契約の各場面で求められる実践的な技術を修得する。

利用者の主訴を明確にし、本人・家族等からの情報収集とその分析を通して相談支援専門員としての専門的な判断の根拠を説明できる技術を修得する。

また、アセスメントにおいて収集した情報から、専門職としてニーズを導くための技術を修得する。

## 【内容】

- 利用者及びその家族との信頼関係の構築の重要性について講義を行う。
- 契約に関する制度上の位置付けや留意事項に関する演習を行う。
- 受付及び初期面接の場面における相談支援の視点と信頼関係を築くための技術(受容、共感、傾聴)について模擬面接などを通じて修得する。その際、真意の確認において特別な配慮を要する障害者(知的障害児者や自閉スペクトラム症者等)とのコミュニケーションに留意した技術を修得する。
- 主訴を始めとする本人に関する心身や環境等についての情報収集とそれをもとにしたアセスメントにより、ニーズを導き出すまでの思考過程に関する演習を行う。
- 演習によりアセスメントに必要な情報収集の項目理解と方法・技術を修得する。(例:ジェノグラム(注2)、エコマップの活用(注3))
- 利用者が持つ内面的及び環境的な強みを重視してアセスメントを行うことの重要性を理解する。(ストレングスモデル)。
- 生物・心理・社会モデルやICF等を活用し、収集した情報を的確に分析し生活全体を捉える視点と、生活ニーズを導き出す方法・技術を修得する。

## 【科目】

目標の設定と計画作成

## 【獲得目標】

基本相談支援を基盤とした計画相談支援の実際について修得する。

本人の意向とニーズを踏まえた目標設定と目標を実現するためのサービス等利用計画等の作成技術を修得する。

また、より適切で質の高いサービスを提供するためには、サービス等利用計画と個別支援計画等との連動が重要であることを理解する。

他の多様な職種とのアセスメント結果の共有やサービス等利用計画の原案に対する専門的見知からの意見収集の意義を理解し、サービス担当者等による会議の開催に係る具体的な方法を修得する。

## 【内容】

- 利用者及び家族の生活に対する意向及び総合的な援助の方針を記載するに当たっての留意点に関して演習を行う。
- アセスメントから導いたニーズを解決するための視点と達成するための目標の関係について講義を行う。
- 計画の策定の視点と手順は、本人のエンパワメントを意識しつつ、①本人の力(ストレングス)の発揮と活用、②一般社会・生活資源の活用、③諸制度(医療・年金・就労・教育・生活保護等)の活用、④障害福祉サービスの活用、⑤満たされないニーズの確認とそれを満たす社会資源開発・地域づくり等、⑥制度・政策改革等、を基本とする意味を理解するための講義を行う。
- インフォーマルサービスも含めた社会資源の種類及び内容を理解するとともに、インフォーマルサービスの活用も含めた支援内容の作成について講義を行う。
- 一連の支援計画作成の手法・技術を修得するための演習を行う。
- サービス担当者会議を開催するに当たり、事前の準備や開催当日の準備など、必要な業務を理解するとともに、会議の進行の手法等に関する演習を行う。
- 模擬サービス担当者会議を行い会議進行の手法・技術を修得する。
- サービス担当者会議は、利用者及び家族並びにサービス提供事業者も含め、利用者を支援していくための方向性を定める場であることから、相談支援専門員によるアセスメントの結果を共有することの重要性を理解する。サービス等利用計画と個別支援計画等との内容の整合性を確認することの重要性を理解する。

【科目】  
評価及び終結

【獲得目標】

基本相談支援を基盤とした計画相談支援の実際について修得する。

ケアマネジメントプロセスにおけるモニタリングの意義・目的や多職種との連携によるサービス実施の効果を検証することの重要性を理解する。

また、検証の結果、支援が終結されることの意義と留意すべきことについて理解する。

【内容】

- ・利用者及びその家族、サービス担当者等との継続的な連絡や、居宅を訪問し利用者とは面接することの意味を理解するための演習を行う。
- ・演習によりモニタリングにおける視点や手法、状況の変化への対応の技術を修得する。
- ・モニタリング結果の記録作成の意味と、記録に当たっての留意点を理解するための講義を行い、演習により手法を修得する。
- ・評価表等を活用し目標に対する各サービスの達成度(効果)の検証の必要性を理解し評価手法を修得する。
- ・相談支援従事者の共依存を避け、自立支援を進める上で、相談支援の終結とセルフケアマネジメントへの移行の重要性について理解し、その作成支援についての講義を行う。
- ・サービス等利用計画等の再作成を行う方法について講義により理解し、演習により技術を修得する。

17

【科目】  
個別相談支援とケアマネジメント

【獲得目標】

本人を中心とした個別の相談支援の実践に必要な相談支援の技術について説明できる。自身の個別の相談支援実践について振り返り、維持・向上すべきことに気付く。個別の相談支援の実践例を振り返り、検討することで個別相談支援の能力の向上を図る。

【内容】

相談支援従事者現任研修

- ・個別の相談支援における関係性の理解、自他尊重などについての自己覚知を行い、①信頼関係の構築、②意思決定（本人を中心とした支援）、③モニタリングの機能について再確認し理解を深めるための講義を行う。
- ・上記講義を踏まえ、自身による個別の相談支援の実践についての振り返り及び自己評価を行う。自己評価により維持・向上すべき技術等についての気付きを得る。自己評価を他者と共有することにより気付きの幅を広げる。
- ・各受講者の相談支援実践例を活用し実践研究を行う。実践例の支援経過に対して、①本人の意向が明確になり優先されているか、②本人の言葉の意味の吟味ができているか、③支援者の都合が優先されていないか、④多職種連携が適切に図られているか、⑤既存の社会資源だけで調整されていないか、⑥結論に誘導するような支援になっていないか等について、自己評価を含め、総合的な視点で検討する。

# 実習体制の整備

19

相談支援従事者初任者研修を基盤に実習体制整備(基礎技術に関する実習)

相談支援 (ケアマネジメント)の 基礎技術に関する実習1	実習現場での相談支援(ケア マネジメント)のプロセスの 経験を通じて実践に当たっ ての留意点や今後の学習課 題等を認識する。	障害福祉サービス等を利用 する障害児者への居宅訪問 を行い、面接による情報収 集・アセスメント、プランニ ングを行う。
相談支援 (ケアマネジメント)の 基礎 技術に関する実習2	実習現場での相談支援(ケア マネジメント)のプロセスの 経験を通じて実践にあたっ ての留意点や今後の学習課 題等を認識する。	実践研究1(実践例の共有と 相互評価1)における相互評 価を踏まえ、必要に応じて追 加の情報収集及び再アセス メントを実施し、プランニ ング内容の修正を行う。
地域資源に関する情報収集	相談支援(ケアマネジメント) に活用する地域資源の実際 について理解する	地域(市町村・障害保健福祉 圏域等)における地域資源 (公的機関、障害福祉サー ビス・障害児支援サービス提 供事業所、(自立支援)協議会 など)に関する情報を収集し、 所定の書式に記録する。

障発0331第7号  
令和3年3月31日

計画相談支援等に係る令和3年度報酬改定の内容等及び地域の相談支援体制  
の充実・強化に向けた取組について

## (2)相談支援専門員養成制度の見直しと実地教育の実施体制の整備について

### 1)相談支援専門員養成制度の見直しと実習の実施について

- 相談支援専門員の養成制度については、主任相談支援専門員の制度が創設され、養成が開始されたほか、令和2年度から相談支援専門員を養成する初任者研修、現任研修についてもカリキュラム改定等の制度改正を行い、その中では、初任者研修において実習を必須化したところである。
- これまで、人材養成については研修の実施主体となっていることから都道府県を中心とした取組としてきたところであるが、実地教育(OJT)の重要性が明らかになってきていることから、より現場に近いところでの教育を加えた養成体系としているところである。併せて、相談支援については、その過半において、市町村が指定権者もしくは実施主体となっていることから、今後の実地教育の体制整備や初任者研修等における実習の実施に当たっては、市町村の積極的な関与が求められるものである。

21

参  
考

# 各都道府県研修の再確認と今後の 研修企画に向けて

(令和2年度の研修企画のポイント資料)

22

## 特に検討が必要になると想定される科目毎のポイント

### (1) 相談支援の実際(演習1日目・2日目)

#### 【概要】

ケアマネジメントプロセスをモデルとなる演習事例を通じて体験的に学ぶ科目

#### 【改定内容】

- ・6h(標準的には1日)から12h(標準的には2日)へ時間増
  - ← 支給決定プロセスの変更・計画相談の対象者拡大に伴い、従来より重視してきたインターク・アセスメントに加え、計画相談実務の内容が増加し、十分な時間が確保できなくなった。
- ・インターク・アセスメントで1日、計画作成から終結までで1日を標準とする内容に改定。
- ・インタークアセスメントを体験し、継続的な研鑽の必要性を体感する時間の確保。
- ・アセスメントにおいては、いわゆる「見立て」を重視し、自らの本人理解に基づき、ひとつの正解を探すのではなく、複数の仮説の中からその状況での最適な支援を考える内容に改定。
- ・サービス担当者会議をはじめとするケア会議の重要性や実際に体感できる時間を確保。
- ・原則として、小講義、個人演習、6名を1グループとするグループでの演習を繰り返す楔形の形式を想定。特に、複数の視点での合議を重視。

23

## 特に検討が必要になると想定される科目毎のポイント

### (1) 相談支援の実際(演習1日目・2日目)つづき

#### 【特に検討が必要になると想定されるポイント】

- ・インタークアセスメントやアセスメントの演習の展開方法  
(特に演習講師への浸透)
- ・演習事例の作成
- ・サービス担当者会議等のロールプレイの展開方法

24

## 特に検討が必要になると想定される科目毎のポイント

### (2) 相談支援の基礎技術に関する実習（演習と演習の間の期間に実施）

#### 【概要】

- ① 「相談支援の実際」で体験したケアマネジメントプロセスを実地で演習。
- ② 地域の概要や資源の状況、(自立支援)協議会の状況を調査する演習。

#### 【改定内容】

- ・従来から原則課していた実習であるが、告示に含まれる内容として追加。  
← 以後の演習科目の前提となる実習であるため、必修化。
- ・課題について、基幹相談支援センター等において指導・助言を受けてくることを推奨。  
← 今後の実地教育(OJT)へ繋がることを想定。

#### 【特に検討が必要になると想定されるポイント】

- ・市町村や障害保健福祉圏域等の相談支援の実施地域との連携の検討。
- ❖ 特に、この研修についての検討のみならず、研修とOJTが連動する仕組み作りの検討の視点が重要。

25

## 特に検討が必要になると想定される科目毎のポイント

### (3) 実践研究（演習3日目～5日目）

#### 【概要】

- ① 実習で行った課題をもとに、複数の視点により自らの実践を検討し、気づきを得ることで、相談支援の実践力を涵養する。

#### 【改定内容】

- ・受講生ひとりひとりに十分な時間を確保し、自らの実践について発表(報告)し、合議による検討を経験する内容に改定。
- ・スーパービジョンおよびケースレビュー(ケースレポート)の実際を体験。
- ・合議の場に参加する際の方法を体験。

#### 【特に検討が必要になると想定されるポイント】

- ・都道府県において、各市町村や障害保健福祉圏域等の相談支援の実施地域において実践可能なスーパービジョンやケースレビューの方法を検討し、実地教育(OJT)と連動する体制を作る視点で検討を行うことが重要。
- ❖ 実地で行われる方法を初めて体験する場が初任者研修であるという位置づけ。

26

### (1) 視点の追加やさらなる強調

- ・本人主体、エンパワメントの視点のさらなる強調
- ・セルフマネジメントとその支援の重要性
- ・研修への当事者の参画促進の視点(受講生・講師)  
→ (2) 合理的配慮の実施の重要性

### (2) 演習実施における合理的配慮

- ・従来の研修に障害者が参加するための合理的配慮
- ・従来の研修のままでは修了が困難な障害者への合理的配慮

※合理的配慮については、今後ガイドラインへの加筆や具体例の紹介を予定

27

## (1) 視点の追加やさらなる強調

### ・特に検討会での意見が多かった視点や現在検討中の視点

#### ① 以下の視点を盛り込んだ演習事例の作成

##### 【例】

- ・各障害の特性理解等を盛り込んだ演習事例  
(コミュニケーションや本人の真意の理解に配慮を要する場合等)
- ・家族支援の視点の反映、逆に障害のある本人と親の相克の反映が行われた演習事例
- ・エンパワメント支援を意識した演習事例

#### ② 当事者の講師や助言者(演習補助者)の積極的な配置

→ 今後加筆されたガイドラインや参考例を紹介予定。

28

# 1 本研修に関する資料の利活用について（1）

## （1）研修資料について

- 本研修の研修資料を都道府県研修に活用することは差し支えない。
  - ただし、各研修実施地域(都道府県)内で、以下の取組が重要。
    - ① 講師・関係者全員が研修の意図・構造・内容を咀嚼しながら共有し、
    - ② 人材育成体系の中に本研修を位置づけた上で、
    - ③ 研修の企画・運営をチームで行うこと。
- ⇒ 標準カリキュラムやシラバス、教材（ツール）、展開方法等詳細を提供するが、その意図を十分理解しつつ自都道府県にフィットした研修とすることが重要。
- 本研修の研修資料を使用する際は、引用ルールやマナーに留意すること。
    - ① 出典を示すこと。
    - ② 改変を加えた場合、改変したことを明示すること。